

南阿蘇村阿蘇山麓での断層トレンチ調査見学

KUMAMOTO Science Cafe



法面に現われていた断層

話題提供 **鳥井 真之** 熊本大学くまもと水循環・減災研究教育センター
減災型社会システム部門特任准教授

2016年の熊本地震では、活断層の活動により甚大な被害が発生しました。この地震を引き起こした布田川断層は、御船町から南阿蘇まで30kmを超える長さで地表に姿を現しました。しかし、熊本地震の発生前には、阿蘇カルデラ内に存在することは知られていませんでした。

現在、この断層がさらに東側へ続いているのか、またその実態はどうなっているのかを解明するための調査が、南阿蘇村の阿蘇山麓で進められています。

今回のサイエンスカフェでは、トレンチ調査の現場を訪れ、実際の調査の様子を見学します。

くまもとサイエンスカフェとは？

ゆったりとした対話形式で、お茶を飲みながら熊本の自然や歴史を学び、得られた知見を暮らしや防災・減災に役立てていただくことを目的とした取り組みです。

Information

日時

9/13 Sat 土
2025★午前の部
10:00～
12:00★午後の部
13:00～
15:00

集合場所

阿南阿蘇村旧立野小学校
(南阿蘇村大字立野1596)

対象

どなたでも 先着30名

共催

熊本大学・南阿蘇村
熊本地方気象台・熊本県
国土交通省阿蘇砂防事務所
阿蘇青少年交流の家
熊本県博物館ネットワークセンター

申込

減災型社会システム部門のWebサイトか、下記の
二次元コードからお申し込みください。

申込締切 9月11日(木) 17:00

※定員に達し次第締め切ります

お問い合わせ

熊本大学くまもと水循環・減災研究教育センター 減災型社会システム部門
☎ 096-342-3489 (火～金 9:00-16:00) ✉ gensai0@kumamoto-u.ac.jp

Webサイト